

平成29年度第1回生坂村福祉センター運営委員会会議要旨

1. 日 時 平成29年6月21日 午後3時30分から
2. 場 所 福祉センター やまなみ荘
3. 出席者 委 員：太田 譲、字引文威、瀧澤龍一、市川寿明、種子光江、
腰原幸朗、曾根原ふさ子、山本みさを、久保田茂樹、
平林敏生
村 長：藤澤泰彦
事務局：藤澤正司、宮澤ふさ子、牛越 実
(説明者)
4. 会長互選 次のとおり互選により決定した。
会 長：久保田 茂樹氏 (区長会)
会長職務代理：種子 光江氏 (民生委員)

5. 協議事項

(1) 平成28年度の運営状況について

説明事項

・平成28年度中に実施してきた事業内容（年末年始の営業、食堂での企画、アウトドア体験、各種プラン、広告・宣伝等）と、平成28年度の決算見込及び利用者の状況を説明した。平成28年度は、宿泊に係る収入が減少し、歳出は前年度より抑えられており、経費の節減に努めている一方で修繕料が増加したため、最終的には一般会計より3,700千円の繰り入れを行った。利用者数は、宿泊と日帰り宴会者数が減少傾向したが、入浴者は前年度を上回ることができた。利用者の地域別の状況を見ると、県外の宿泊者の減少が目立っており、村内や近隣に仕事のために来ていた方の宿泊が大幅に減少している。

委員からの質問

Q：リピーターの状況は。

A：近隣・県内のリピーターは何組かいるが県外はない。1年おき、2年おきに來てくれる団体や会社がある。

Q：村外からやまなみ荘を利用してもらうには道路環境を良くしてもらうことも必要だ。

A：県道は要望をしている。差切峠の通行止めは影響が出ている。

Q：27年度の宿泊はネットでの予約が増えたと聞いたが、本年度は宿泊が減少している。

A：27年度は、楽天のネット予約を本格的に始めたことが増えた一因ではないか。ネットはこまめに比較・チェックができるので、少しでも条件が良いところに変えられている可能性があり、料金改定の影響があるかもしれない。

Q：1月から3月までの見通しは。

A：1月は、日曜日の宴会は好調であったが全体的に利用者が少なかった。2月も土・日曜日の宴会はほぼ満室であるが、平日の宿泊が少ない。3月は日曜日の宴会が入ってきている。1月から2月に行った海鮮丼フェアの利用者に宿泊割引券をプレゼントした。これは、期限（4月27日まで）を設け、平日に限って利用できるもので、平日の稼働率が上げられればと考

えた。

Q：お得感を得られる企画を考えていくことは良いと思う。

A：利益率は落ちるが、平日の稼働率を上げることを考えていきたい。

Q：入浴者数が増えている要因は。入浴者が食事や、売店を利用するように考えて。

A：海鮮丼を食べに来た方の利用や定期券の購入者の回数が増えている。売店利用者は、生坂でしか買えないものを買っていく。おやきの希望が多いため農業公社へも対応をお願いしている。

Q：松本山雅パートナーカンパニーとはどのようなものか。

A：松本山雅のホームページへの掲載や、のぼり旗やポスター、ホームゲームのチケットをいただくことができ、ロゴなどの使用が可能となる。チケットはお客様に還元している。子ども達の活動にも協力いただける。

委員からの意見

- ・宿泊と宿泊の飲食の部門が伸び悩んでいるが、他の項目についてはまあまあだ。特色ある取り組みをすることで、ネットでの評価が上がりプラスになるのでは。
- ・県外の利用者から、風呂も食事も良かったという声を聞いた。
- ・お客様が帰るときの、見送り方がとても良い。
- ・宴会をすると宿泊がお得に利用できるような、宴会宿泊パックを考えてはどうか。
- ・もう少し村外の方、特に松川村、大町市の方に利用してもらえるようPRが必要。
- ・他の施設では企業と連携したイベントが行われている。
- ・閑散期にどのように稼働率を上げられるかだ。他の施設では、ポイントアップやクーポン券などの仕掛けをしている。ネットを利用することでポイント付与などを含めた総合的な価格やサービスの比較等が容易にできるので、そうしたことに対応する研究を。

(2) 平成29年度の運営について

説明事項

・平成29年度の福祉センター特別会計は、平成28年度の運営状況を踏まえ対前年減額予算となる。関係機関等とも連携し、平日の稼働率を上げることができる特色ある企画をしていく。料理コンテストを実施し、知名度を上げ集客につなげたい。1月は2回の休館日（計3日）をいただいているが、1回3連休にすることはいかがか。1月の休館日の在り方を検討願いたい。

委員からの意見質問

Q：1月の休日を3連休にすることは難しいのではないか。他の方法は考えられないか。

A：案の3連休にする週は、宴会の少ない第3週とした。2回に分けての休日では宴会ができない半日営業も2回になり、効率が良くない。

Q：入浴の利用者には影響がでる。

A：そう思う。

Q：1月の1日を違う月にして、2連休の回数を増やすことはできないか。

A：可能です。

Q：3連休にして3日目のみ風呂の営業をすることはどうか。その場合の職員の負担は。

A：年末年始休館にしていたときは1月2日に風呂だけ営業したが、風呂だけではなく、食事がしたいという声があった。お湯を入れるなどの準備があるので、職員が前日から出るようになってしまい効率的でない。

Q：大きな組織であれば営業しながらシフトの中で職員が休むことはできるが、小さい組織では難しいところがある。

A：一人ひとりが休みを取りながら、効率的な営業をしたいと考えている。

Q：無料入浴日を夜7時までの営業にすればどうか。

A：風呂の掃除等が有り、結局夜9時過ぎに帰ることになり他の営業も行うことになる。

Q：3連休は難しいと思う。1日は2月を連休で休むようにした方が良いと思う。

A：その方向で進めていきます。

(3) その他

Q：クレーム対応で委員会をつくるとなっているが、どのように対応してきているのか。

A：館内でその都度、検討する場を設けてきた。これまで大きなトラブル、クレームはなく、要望的な内容が多い。そうした声を共有していく会を持っている。

Q：予約日や時間を間違えた、といったことはないか。

A：予約日の前日に電話による確認をしており、今まではそうしたトラブルはない。

Q：ノロウィルスなどの予防や、その他の安全管理を徹底して欲しい。

A：職員の健康管理については定例会の度に注意喚起をし、日々の仕事に従事する場合は、健康管理チェック表によるチェックをしている。

その他：おやきの販売について研究をしていく。

午後5時15分終了